

会議の概要(議事録)

会議の名称	(番号) 1-31	令和6年度第1回すみだ食育推進会議	
開催日時	令和6年6月7日(金)午後1時30分から午後3時まで		
開催場所	墨田区役所12階 121会議室		
出席者 (敬称略)	<p>【委員】原寛道、米倉れい子、羽原隆、大久保勝久、大西雅之、佐伯信郎、田口武司、秋田昌子、高橋幸恵、河上俊郎、前田恵子、須藤浩司(保健衛生担当次長)</p> <p>【事務局】健康推進課長、健康推進課地域保健担当主査、主事、栄養士</p>		
会議の公開 (傍聴)	公開(傍聴できる) 部分公開(部分傍聴できる)	傍聴者数	1名
議 題	<p>1 区長 あいさつ</p> <p>2 委員の紹介</p> <p>3 委員長・副委員長の選出及び挨拶</p> <p>4 報告</p> <p>(1)令和5年度 区・すみだ食育 good ネットの食育推進事業実績 (追加分)</p> <p>(2)令和5年度 こども商店街事業について</p> <p>(3)令和6年度 食育推進事業について</p> <p>5 議事</p> <p>(1)すみだ食育フェス2024について</p> <p>(2)墨田区食育推進計画における「定性的な評価」の検討について (案)</p> <p>(3)芽室町との食を通じた交流事業 (特別区全国連携プロジェクト) の今後の進め方について</p> <p>6 その他(情報交換など)</p> <p>7 今後の予定</p>		
配付資料	<p><配布資料></p> <p>資料1 令和6年度 すみだ食育推進会議委員名簿</p> <p>資料2 令和5年度 区・すみだ食育 good ネットの食育推進事業実績</p> <p>資料3 令和5年度 こども商店街</p> <p>資料4 令和6年度 食育推進事業</p> <p>資料5 -①食育イベント「すみだ食育フェス2024」概要</p> <p>資料5 -②すみだ食育フェス2024 出展団体一覧</p> <p>資料6 墨田区食育推進計画における「定性的な評価」の検討について (案)</p> <p>資料7 「定性的な評価」の検討体制 (案)</p> <p>資料8 芽室町との食を通じた交流事業 (特別区全国連携プロジェクト) の今後の進め方について</p>		

	<p>資料9 ご意見・ご質問シート</p> <p>参考 すみだ食育推進会議に関する要綱</p> <p>参考 「すみだ食育フェス2024」チラシ</p>
<p style="text-align: center;">会 議 録</p>	<p>1. 開会</p> <p>◇事務局</p> <p>それでは、定刻となりましたので、ただいまから、令和6年度「第1回すみだ食育推進会議」を開催させていただきます。オンラインでご参加の委員の方、こちらの声はきちんと届いていますでしょうか。ありがとうございます。今年度から墨田区健康推進課長となりました、伊藤でございます。本日、司会をさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、組織改正のため、今年度より事務局が保健計画課から健康推進課になっております。本日は、お忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。</p> <p>この「すみだ食育推進会議」につきましては、墨田区食育推進計画の理念を踏まえて、墨田区の食育を総合的に推進するために、区長の附属機関として条例により設置しております。</p> <p>なお、委員の委嘱状につきましては、時間の都合上、机上配布とさせていただきます。オンラインでご出席の委員には、後日議事録とともにお送りいたします。</p> <p>また、この会議は、区の「審議会等の会議の公開に関する基準」に基づき、会議の公開及び議事録の公表を行うことになっております。本日は、1名の方が傍聴されることをご報告申し上げます。</p> <p>それでは初めに、山本区長からご挨拶申し上げます。</p> <p>◇区長</p> <p>皆様、こんにちは。区長の山本でございます。</p> <p>皆様には日頃から、食育をはじめ区政の各般に御理解・御協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。そしてこの度は、「すみだ食育推進会議」の委員への就任を快くお引き受けいただき、心から感謝を申し上げます。</p> <p>今年は、令和4年度に策定した「墨田区食育推進計画」が3年目に入り、令和8年度までの計画期間の、ちょうど中間の年となります。そこで、次期計画改定に向け、評価指標の1つである定性的な評価の独自モデルの作成について、区民、事業者及び関係機関とともに調査・検討していくこととしております。委員の皆様方には、「すみだの食育」のさらなる推進を目指し、地域に根差した取組を進めていくため、忌憚のない御意見と御審議をいただきますようお願いいたします。</p> <p>さて、区で現在建設中の「すみだ保健子育て総合センター」が、いよいよ11月にオープンを迎えます。この施設では、「つなぐ・つながる」をコンセプトに、感染症拡大に伴う健康危機意識への対応、健康や子育てに関する切れ目のない支援の充実、関連する複合的な課題等に対して、区民一人ひとりに寄り添ったサービスを展開していきます。また、災害発生時には、支援物資の輸送拠点としての機能も担っていきます。</p> <p>これからも、健康長寿日本一のまちの実現を目指し、全力で取組んでいきますので、皆様には、食育の推進をはじめ、地域の健康づくりのより一層の展開に、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。</p>

◇事務局

ありがとうございました。ここで、区長は他の公務の都合により退席させていただきます。

2. 委員の紹介

◇事務局

続きましては各委員のご紹介ですが、委員 14 名中 1 名が新しい委員になっております。資料 1 の委員名簿の順におひとりずつ委員の方に自己紹介をお願いいたします。お名前、ご所属に活動内容などを一言添えていただきたいと思います。なお、本日は佐伯委員がオンラインでのご参加となります。また、平田委員と本多委員は本日ご都合により欠席です。欠席の委員については、ご意見を頂戴しておりますので、該当箇所にて事務局にて代読させていただきます。

それでは順番に自己紹介をお願いします。

—各自己紹介—

また、佐伯委員は所用により午後 2 時まで、羽原委員は、診療時間の関係で、午後 2 時 30 分頃までのご出席と伺っております。

3. 委員長・副委員長の選出及び挨拶

それでは、委員長の選出に移らせていただきます。この会議の委員長は、委員の互選により定めることになっておりますが、どなたかいらっしゃいますか。

■田口委員

秋田委員にお願いしたいと思います。

◇事務局

秋田委員とのお声が上がりましたがいかがでしょうか。

—異議なしの発言、拍手（承認）—

◇事務局

それではすみだ食育 good ネット常務理事の秋田委員に委員長をお願いしたいと思います
いかがでしょうか。

□秋田委員

よろしく願いいたします。

◇事務局

それでは委員長よりご挨拶をお願いいたします。

□秋田委員長

改めまして委員長に推薦していただきました秋田昌子と申します。どうぞよろしくお願いいた
す。初委員でありながら、委員長をお引き受けするということで非常に不慣れではございますが、
委員の皆様のお力をお借りして、務めさせていただければと思いますのでよろしくお願いいたしま
す。区長のご挨拶にもありましたように、令和 4 年 6 月に策定された、墨田区食育推進計画
は、今年度、この計画の中間年にあたります。また、この会議は計画書の第 7 章進捗管理と
評価にありますように、進行状況を総合的に検討・評価を行うとあります。次期計画を見据え
ての大事な年となりますので、委員の皆様のご意見、お知恵をいただければと思っております。す

みだの食育は食で育む、育むのは「ひと」、「まち」、「しくみ」であり、つながることに手間をかける、を掲げて10年が経過しております。本日の議題にありますように、定性的な評価や、食を通じた自治体間交流など、今年度ならではの検討項目がございます。皆様の忌憚のないご意見をいただきながら進めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

◇事務局

ありがとうございます。引き続き会議の要綱により、委員長より、副委員長を選出いただきます。秋田委員長、ご指名をお願いいたします。

□秋田委員長

それでは、千葉大学の原委員にぜひ副委員長をお引き受けいただければと思いますが、いかがでしょうか。

□原委員

はい、引き受けさせていただきます。

－拍手（承認）－

◇事務局

それでは、原委員からご挨拶をお願いします。

■原副委員長

力不足の感はあるかもしれませんが、とても大事な役割だと認識しておりますので、ぜひ楽しい会議、取り組みになっていけるように努めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

◇事務局

ありがとうございます。委員長、副委員長ありがとうございました。

続きまして、配布資料について、事務局から説明いたします。

－次第に基づき、配布資料の確認－

4. 報告

事務局より、資料2～4に基づき説明

(1) 令和5年度 区・すみだ食育 good ネットの食育推進事業実績（追加分）

(2) 令和5年度 こども商店街事業について

(3) 令和6年度 食育推進事業について

※報告を受けて、各委員よりご意見、ご感想をお伺いした。

5. 議事

事務局より資料5～8に基づき説明

(1) すみだ食育フェス2024について

※ここで委員長による採決の結果、過半数以上の賛成をもって承認された。

(2) 墨田区食育推進計画における「定性的な評価」の検討について（案）

※ここで委員長による採決の結果、過半数以上の賛成をもって承認された。

(3) 芽室町との食を通じた交流事業（特別区全国連携プロジェクト）の今後の進め方について

※ここで委員長による採決の結果、過半数以上の賛成をもって承認された。

-----以下、意見交換の概要-----

◇事務局

それではここからの進行は、秋田委員長にお願いいたします。

□秋田委員長

それでは、ここからの進行をさせていただきます。

皆様にはご協力をいただき、議事を進行してまいりたいと思います。

なお、本会議は「委員の過半数の出席において開催」となり、議事承認については「出席委員の過半数」の賛成をもって承認となります。本日は委員の過半数のご出席をいただいておりますので進めさせていただきます。

佐伯委員は、途中退席と伺っていますので、何かご意見等があればお願いいたします。いかがでしょうか。

■佐伯委員

ないので大丈夫です。

□秋田委員長

それでは、ここから報告及び議事に入らせていただきます。

次第4、報告について、事務局から委員の皆様へ報告してもらい、その後委員の皆様から質疑、ご意見をお伺いしたいと思います。次第4、報告の(1)、(2)をまとめて報告していただき、進めていきたいと思いますので事務局からお願いします。

◇事務局

まず初めに、(1)「区・すみだ食育 good ネットの食育推進事業」について、資料2をご覧ください。令和5年度の区とすみだ食育 good ネットの食育推進事業の3月実績が、追加となっております。お目通しよろしくお願いたします。

続きまして、資料3をご覧ください。(2)令和5年度子ども商店街事業についてご報告させていただきます。前回の会議では実施終了に至っていなかった関係でご報告ができておりませんが、HP上にPR動画を公開させていただきましたので、委員の皆様におかれましては、お時間のある際にご覧いただければと思います。よろしくお願いたします。事務局からは以上です。

□秋田委員長

事務局から資料に基づいて報告がございました。昨年の令和5年度第2回すみだ食育推進会議にご出席の委員におかれましては、3月が追加になっているとご理解ください。

ご報告がありましたところにつきまして、何かご質問ご意見等ございましたら挙手にてお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

それでは、次の(3)令和6年度食育推進事業について、事務局よりお願いします。

◇事務局

事務局より、(3)令和6年度食育推進事業についてご報告いたします。資料4をご覧ください。

まず1つ目は、ワクワク EXPO with 第19回食育推進全国大会です。今年度も昨年度に引き続き墨田区として出展してまいりました。内容にも記載がある通り、墨田区、すみだ食育 good ネット、北海道芽室町の3者合同でブースを出展いたしました。今回、3者でブースを並べて出展することを活かし、すみだ食育 good ネットを中心に配置し、人と人が立場や分野、

地域をこえて対等につながり、互いの力を出し合い、官民協働、地域間交流の協働をどのようにして食で育んできたのかを、今までの実践を踏まえ、来場者へ伝えていくような展示を合同で行いました。また、初の試みとして、すみだ食育 good ネットが丸テーブルを借り、来場者の活動の悩みを聞き、解決策等をじっくり話し合う情報交換の場を設けました。続きまして2つ目は、すみだ食育フェス2024についてです。こちらは6月の食育月間における食育普及啓発イベントになります。期間、会場、内容につきましては資料4に記載の通りになります。合わせて、食育月間関連イベントとして、食育の展示をひきふね図書館で実施しております。期間、場所、内容につきましては資料4に記載の通りになります。3つ目は、児童館等とのこども商店街についてです。こちらはこどもたちが地域のお店とつながることをきっかけにした、児童館を核とした地域のネットワークづくり等を目的に行っております。実施内容及び実施時期については、児童館等と検討していくこととなっております。4つ目は、墨田区食育推進計画「定性的な評価」ワークショップについてです。こちらは、「すみだの食育」の評価の独自モデルを作成するため、年3回ワークショップの開催を予定しております。5つ目は、災害時食支援ネットワークの構築についてです。災害時の食支援に関する検討を行うため、今年度も年2回開催予定です。時期は8月と12月を予定しております。6つ目は、中学3年生の農業体験・漁業体験アンケート調査についてです。こちらの調査時期は10月～11月頃を予定しております。7つ目は、芽室町との食を通じた交流事業（特別区全国連携プロジェクト）についてです。こちらは、特別区全国プロジェクトの成果を活かし、北海道十勝地域芽室町と食を通じた交流事業を行う予定です。8つ目は、食育シンポジウムについてです。こちら区は共催で、主催はNPO法人幼年教育・子育て支援推進機構となっております。日時、会場につきましては記載の通りです。9つ目は、すみだ食育推進リーダーの育成について、昨年度に修了した6期生への情報共有の場の提供や活動の支援を行っていく予定としております。事務局からは以上です。

□秋田委員長

ありがとうございました。

それでは令和6年度の食育推進事業の内容につきまして、委員の皆様より質疑、ご意見、ご感想等をお伺いしたいと思います。いかがでしょうか。

■河上委員

所管が変わって健康推進課というのは新しくできた課なのでしょうか。

◇事務局

はい、そうでございます。

■河上委員

そうすると、どの部になるのでしょうか。

■須藤委員

同じ保健衛生担当なのですが、新保健施設開設に伴って、向島保健センターと本所保健センターという保健所機能が一つになります。その関係で組織の見直しがされております。

■河上委員

生活衛生課が入って、保健計画課の業務を代わりに健康推進課がやるということなのですか。

■須藤委員

今年度から健康推進課に事業が移管されております。

■河上委員

新しく食育をやるために作った課ではないということですね。

■須藤委員

健康づくり全般の事業を行う課となっております。

■河上委員

大切な仕事だと思うので。端的に言って、何がメリットなのでしょう。

■須藤委員

まず、先ほど申し上げた、保健所機能が一つになり単独の施設となりますので、全体的な施策を進める部門を保健計画課とし、目的ごとの施策の推進をその他の課で行っていきと整理をいたしました。庁舎内の保健計画課が様々な業務を行っており、うまく回らない状況がありましたので、移転を機に役割を整理いたしました。

食育の施策については今まで以上に取り組み、影響のない様にいたしますのでよろしく願いいたします。

■河上委員

ありがとうございます。

■米倉委員

今のご質問につながる話ですが、食育は健康だけではなく、農業、食農の部分、教育の部分、今ですと食品安全も含めて、色々なところが関わって成り立っているというところです。前職で見えてきて、健康関係部局が担当してしまうと、健康に偏る食育を推進しがちになってしまう印象があります。仕方がないところはありますが、その部分に関して食育の豊かさというのは教育や農業部分も必ず入っていて、墨田区の良さはそのようなことが住民主導で進められていることを外から見ていると感じてきたところです。今までと大きく変わらないだろうとはわかりますが、長年見えてきて、健康部局が持つことにより食育の偏りは出がちななるとも思いますので、すみだらしさを活かしながら広く、そのようなところも大切にしていっていただければと思います。

■須藤委員

ありがとうございます。おっしゃる通りで、墨田区の特徴として、地域の皆様とともにやっていくことで推進してきましたので、そこが変わることはないですし、より多くの住民の方を巻き込んで、いかに進めていくかが大きな課題だと思います。また、子供たちの教育も含めて、きちんと連携もしていますし、栄養士も教育委員会におりますので、コラボしながら事業を進めていきたいと思っています。健康に特化したということではなく、区民にとって何が一番の利益なのかという視点でやっていきたいと思っていますので、今後ご意見をいただきたいと思っています。ありがとうございます。

□秋田委員長

ありがとうございました。ほかにありますか。

少しお話をさせていただきますと、食育の基本法ができてから、食育を国で最初に所管したのが内閣府でした。内閣府が10年ほど所管した後に、農林水産省に移りましたが、河上委員のお話は、食育を行政の中で組織的にどこに位置づけていくのかということと、また、米倉委員のお話の中では、この幅広の食育を厚生労働省系、農林水産省系、文部科学省系というように別れてしまうのではなく、横断的にすみだらしく進めてほしいというご意見をいただいたかと思いま

す。ありがとうございました。

それでは、ご意見をいただきましたので、ここまででご報告を終わらせていただき、続いて議事に入らせていただきます。議事につきましては出席委員の過半数の賛成をもって承認となりますので、皆様のご承認をいただきながら進めていきたいと思っております。事務局から説明をしていただき、委員のみなさまの質疑・ご意見をお伺いするという流れになります。なお、時間の都合上、委員の皆様全員のご意見をお伺い出来ない可能性がございます。お伺いしきれなかったご意見につきましては、本日、事務局より配布しております、資料 9 の「ご意見・ご質問シート」にご記入いただき、事務局へ提出をお願いしたいと思います。

それでは、議事 1、すみだ食育フェス 2024 について事務局より説明してください。

◇事務局

まず初めに議事 1 の、すみだ食育フェス 2024 についてご説明させていただきます。お手元の資料 5-①をご覧ください。イベントタイトルは「すみだ食育フェス 2024 食育でみんなが笑顔の環」です。次に目的ですが、広く区民に食育を普及啓発し、すみだらしい食育の推進を図ることを目的に、食育イベントを開催しております。なお、今年度も例年通り、食育月間である 6 月に実施することとしています。日時、開催場所については資料に記載の通りとなります。内容については、(1)パネル展示、(2)講演会、オンライン講座、地域イベント、(3)ベジチェックということで、詳細につきましては、資料 5-②をご覧ください。資料 5-②は今年度の出展一覧になります。表面の展示の出展者について、今年度新しく出展している団体につきましては二重丸をつけております。裏面は講習会や地域イベントの一覧となっております。今年度の特徴としましては、昨年度すみだ食育推進リーダーになられた方が所属する施設や、前田委員ご所属の墨田区社会福祉協議会が今年度新たに展示に出展されていたり、昨年度繋がりました、株式会社セブン-イレブン・ジャパンが展示だけではなく、講演会を実施したりと、今年度新たなつながりが生まれております。また、食育フェスではありませんが、昨年度の食育フェスでのつながりをきっかけに、竪川中学校と株式会社セブン-イレブン・ジャパンが食品ロスに関する食育の事業を今年度の秋に行う予定となっております。お手元の資料 5-①にお戻りください。5、周知方法ですが、すでに 6 月 1 日号の区報で周知をさせていただいております。合わせて、区の H P ・ X (旧 Twitter) ・ Facebook ・ LINE でも周知をさせていただいております。今回、皆様に参考でお配りさせていただきました、食育フェスのチラシにつきましても、すでに区施設、区立小学校、中学校、関係団体等に配布をさせていただいております。事務局からは以上です。

□秋田委員長

ありがとうございました。今、事務局からご説明がありました、すみだ食育フェス 2024 についてご意見のある方は挙手をお願いしたいと思います。

羽原委員は、14 時 30 分にご退席と伺っていますので、今、ご説明のありましたすみだ食育フェスだけでなく、全体を通して何かご意見等がありましたら、ここで伺いさせていただきたいと思っております。

■羽原委員

ありがとうございます。すみだ食育フェスはコロナでだいぶ中断がありましたが、こうして再開できるようになってほっとしているところでございます。残念なことにコロナの感染者はゼロにはなっており

ませんので、くれぐれも気を付けてください。特に今は沖縄県でひどくなってしまっておりますので、油断されないようにということを医療からは申し上げたいと思います。いろいろなイベントが増えてきているので、この勢いを維持しながら、色々な啓発ができることを嬉しく思っております。以上でございます。

□秋田委員長

羽原委員、ご意見ありがとうございました。

それでは、本日まで出席の委員の皆様のご所属団体もこの食育フェスに多数ご参加されると伺っております。まずは、高橋委員、いかがでしょうか。

■高橋委員

すみだ地域栄養ネットワークでは「食」でつながる地域貢献ということで、各施設や事業所の取組みをそれぞれの施設で作って参加させていただきます。施設でどういった形で食育をしているのか、区民の方に知っていただければと思っております。

□秋田委員長

ありがとうございます。それでは続いてですが、前田委員の社会福祉法人墨田区社会福祉協議会では、「食べる場 活動一覧」というタイトルで、今年度初めて展示をされるということですが、どのような内容で展示される予定でございますでしょうか。

■前田委員

社会福祉協議会の中で食を通してやっている事業というのは、区内の地域食堂、こども食堂を墨田区の地図に落としたものを、HP に掲載しています。厚生課とタイアップして取り組んでおり、社会福祉協議会としては、どこにどのような食堂があるのかを掲載した一覧を配布いたしまして、来場者に手にとってもらい、機会があれば行っていただくというような PR をさせていただこうと思っております。

□秋田委員長

ありがとうございました。

それでは続きまして、本所歯科医師会の大西委員、継続的に展示をされていらっしゃると思いますが、いかがでしょうか。

■大西委員

本所歯科医師会では、小児期と成人期と高齢期と 3 つの年齢層に分けてそれぞれの大事なポイントを展示しております。本所歯科医師会の中でも食育に携わる委員が増えてきたらアップデートして行って、それぞれの層にどのようなことを訴えていったら、噛むことや食事をとることに関心を持っていただけるかを模索しながら取り組んでいる最中でございます。引き続き協力させていただきながら、進めていきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

□秋田委員長

ありがとうございました。

それでは続きまして、大久保委員は向島歯科医師会として、展示と講演会の講師もされると記載がありますが、いかがでしょうか。

■大久保委員

展示については、向島歯科医師会が墨田区高齢者福祉課から依頼されている高齢者の口腔ケア講習会についてご紹介する展示をいたします。高齢者支援総合支援センター4 カ所

で行っている事業の内容を展示いたします。昨年同様の内容となります。また、すみだ食育 good ネット、向島歯科医師会、北海道芽室町との協働主催にて講演会を行います。昨年度は「学童期の食べる機能について」をテーマとしましたが、今年度は、乳幼児期からお話する予定です。この講演会は、向島消防署にご協力をいただき、窒息時の対応についての実技も行いますのでよろしくお願いいたします。

□秋田委員長

ありがとうございました。それでは、皆様から食育フェスの取組みについてお話をいただきました。では、食育フェス2024について、ご承認をいただける方は挙手をお願いしたいと思います。

全員挙手ということでご承認をいただきました。

引き続き、事務局より議事の(2)墨田区食育推進計画における「定性的な評価」の検討について(案)の説明をお願いします。

なお、ここでは、「検討体制」、「(仮称)墨田区食育推進計画評価検討会議」、「定性的な評価」ワークショップについて、それぞれ委員の皆様よりご意見をいただき、ご承認をお願いする流れで進めさせていただきます。事務局はその流れに従ってご説明をお願いします。

◇事務局

それでは資料6をご覧ください。「墨田区食育推進計画における「定性的な評価」の検討について(案)」ご説明させていただきます。1の墨田区食育推進計画の評価指標について、墨田区食育推進計画では、目標の達成状況を把握する評価指標として、基本目標を柱とした量的及び質的な項目を設定しています。(1)計画策定の趣旨である「持続可能な協創」の食育から、これまで育まれてきた「食育」の実践活動に着目し、「食」を通して生まれた「行動の変化」を明らかにしていく。(2)すみだがめざす食育の姿「みんなが笑顔でたのしい食環境を通じて豊かな人生をおくる」と、「計画の全体像」が、どのように推進されているかについて、区民等と区の両面から検討・調査するとしています。「定性的な評価」の指標と項目については資料6の表の通りです。(3)令和6年度から令和8年度のスケジュールについては、図の通りとなっております。こちらは令和5年第2回すみだ食育推進会議の資料より抜粋したものになります。裏面2の「定性的な評価」の検討体制について、すみだ食育推進会議の専門部会として「(仮称)墨田区食育推進計画評価検討会議」を設置し、区民等の参加による「定性的な評価」ワークショップを開催し「すみだの食育」における「定性的な評価」の独自モデルの検討体制を整えるということで、検討体制については資料7をご覧ください。こちらが「定性的な評価」の検討体制(案)となっております。一番上に、本日開催しております、すみだ食育推進会議(条例会議)は条例で専門部会を設けることができることになっておりますので、今回専門部会として、(仮称)墨田区食育推進計画評価検討会議を位置付けております。その下に定性的な評価ワークショップを年3回実施する予定です。合わせて、左側にあります、墨田区庁内食育関連事業担当者会議の委員にも、定性的な評価ワークショップに入っいただき、区民と区と一緒に、調査検討していくこととしております。ここから、すみだの食育の独自評価モデル(案)を作成し、第2回すみだ食育推進会議でご報告、承認をいただき、定性的な評価の確立としたいと考えております。事務局からは以上です。

□秋田委員長

ありがとうございました。墨田区食育推進計画における定性的な評価ということですが、多くの自治体は定量評価が多く、定性評価は難しく、着手する自治体は非常に珍しいと思われま
す。墨田区におきましては 10 年ほど前に、定量的・定性的、特徴的な事例という 3 本の評価
の柱を立ててこれまで進めていましたが、特にこの令和 4 年度の計画から定性的な評価に本
気で向き合うということになっていると伺っております。定性的な評価に着手するということは、ある
意味パンドラの箱を開けたような状況で、これをどのように着地させていくのかは非常に難しいと
思われます。学術的な部分も必要ではありますが、すみだの食育として実践を通して区民の
方、行政の方がその中からどのようにしてすみだらしいを作っていくのかということで取り組まれると
伺っております。それを進めるにあたって、今回、検討体制をしっかりと作って進めるということで、そ
の中でこの検討体制について、委員の皆様からご意見・ご質問を伺いたいと思いますがいかがで
しょうか。

この検討体制は食育推進計画を策定しているときの体制と近い状態で、この計画をいかにし
っかりと評価し、前に進んでいくのかという行政側の姿勢を表していただけたかなと感じておりま
す。

それでは、ここの方針について、皆様からご承認いただきたいと思いますので、挙手をいただ
ける方はお願いしたいと思います。

「出席委員の過半数」の賛成をもって承認となりました。

このご承認をいただいたうえで、次に、（仮称）墨田区食育推進計画評価検討会議につ
いて事務局より説明をお願いします。

◇事務局

それでは資料 6 の裏面の 3 をご覧ください。（仮称）墨田区食育推進計画評価検討会
議の設置について、墨田区食育推進計画では、目標の達成状況を把握する評価指標とし
て、基本目標を柱とした量的及び質的な項目を設定しております。そのうち定性的な評価につ
いては、令和 5 年度に行った「定性的な評価」ワークショップにて、令和 6 年度から令和 8 年
度にかけて区民等と区で共に「すみだの食育」における「定性的な評価」の独自モデルを作成す
ることといたしました。ついては、独自モデル作成の方向性や実施方法等の検討を行うため「墨
田区食育推進計画評価検討会議」を設置したいと思っております。なお、本検討会議につ
いては、すみだ食育推進会議の専門部会として位置付けることといたします。(1)委員数等
（案）について、事務局としては 5 名を考えております。すみだ食育推進会議委員及び令和
5 年度墨田区食育推進計画定性評価検討会議から 4 名、墨田区職員 1 名の合計 5 名
です。職員につきましては、墨田区保健衛生担当次長を考えております。(2)開催時期等
（予定）ということで、開催時期につきましては、第 1 回を 7 月から 8 月、第 2 回を 12 月と
予定しております。なお、第 1 回では、「定性的な評価」ワークショップの実施内容等について、
第 2 回では、「定性的な評価ワークショップ」の結果と「定性的な評価」の独自モデル（案）に
ついて検討させていただければと思います。なお、第 1 回会議後に「定性的な評価ワークショ
ップ」を 3 回開催し、第 2 回会議の後に「第 2 回すみだ食育推進会議」へ報告し、ご承認いた
だく予定であります。事務局からは以上です。

□秋田委員長

ありがとうございます。

それでは、(仮称) 墨田区食育推進計画評価検討会議の設置について、設置の趣旨、委員等の数、開催時期等ということでご説明がありました。委員等の数の所について、事務局として、メンバーの(案)がありましたら教えていただければと思います。

◇事務局

事務局案としましては、すみだ食育推進会議の委員からは、原副委員長にお願いしたいと考えております。令和5年度墨田区食育推進計画定性評価検討会議委員からは、米倉委員、本日は欠席でいらっしゃる本多委員、大久保勝仁氏で考えております。

□秋田委員長

ありがとうございます。

それでは具体的な委員のお名前も挙がっておりますが、それも含めて、ご意見・ご質問がある方は挙手をお願いいたします。

それでは、本日事務局案としてお名前が上がりました原副委員長、米倉委員、本日欠席である本多委員にお引き受けいただけないかということでしたが、いかがでしょうか。

■原福委員長

承知いたしました。

■米倉委員

はい

□秋田委員長

ありがとうございます。

■米倉委員

ご質問いいでしょうか。本日資料を拝見して、資料7と資料6の3でわからない部分があるので質問させてください。資料6を拝見すると、墨田区食育推進計画評価検討会議が最終的なモデル(案)作成の方向性や実施方法の検討を行うことになっていますが、資料7を拝見すると、すみだの食育の独自評価モデル(案)のところには、「定性的な評価」ワークショップからと、行政栄養士連絡会から、また墨田区の担当者会議から、と、全箇所から矢印が引かれており、誰がどのような手順で、この評価モデル(案)を作って報告するのかがわからなくなりました。結局どこが中心になって作成していくのでしょうか。評価検討会議では何を評価・承認するのか、資料7を見ているとわからなくなってしまったので、再度確認させてください。

□秋田委員長

それでは米倉委員よりご質問がありましたが、墨田区食育推進計画評価検討会議、「定性的な評価」ワークショップ、ここで何をしていくのか、ということを明確にさせていただきたいということでしたので事務局から説明をお願いします。

◇事務局

墨田区食育推進計画評価検討会議の体制の図が入ったことでわかりにくくなってしまったのかなと思いますが、1回目の墨田区食育推進計画評価検討会議で「定性的な評価」ワークショップの実施内容や方向性等の合意形成や検討ができればと考えております。また、それを踏まえて「定性的な評価」ワークショップを3回実施し、事務局でたたき台を作成し、そこをもって第2回墨田区食育推進計画評価検討会議で、「定性的な評価」のワークショップの結果を踏まえて、すみだの食育の独自評価モデル(案)の検討をお願いしたいという流れになります。そこ

で出たものを報告する形になります。

■米倉委員

資料7で矢印が引かれていることからわからなくなっているのですが、墨田区側の連絡会や担当者会議での意向も評価検討会議に戻ってくるということなののでしょうか。1回目の墨田区食育推進計画評価検討会議で最初に方針等を検討して、行政側が、「定性的な評価」のワークショップなどを通して最終的な評価モデル（案）を作るということなののでしょうか。

◇事務局

下に矢印が出てしまっておりますが、担当者会議のメンバーや行政栄養士連絡会のメンバーには「定性的な評価」ワークショップの中に行政側の参加者として入っていただきます。そこで行政側と民側の意見を「定性的な評価」ワークショップの中で結果として出てくるという形になります。そのあとに墨田区庁内食育関連事業担当者会議で、報告をしていくことになると思います。

■河上委員

この矢印だと、「定性的な評価」ワークショップがあって、下にモデル（案）が出てきますが、このモデル（案）というのは誰がまとめるのでしょうか。「定性的な評価」ワークショップ内でまとめるのでしょうか。

◇事務局

評価検討会議2回分が図の上についてしまっているが、流れとしては1回目の評価検討会議を実施した後に「定性的な評価」ワークショップを3回実施し、それをまとめた、たたき台のようなものを事務局で作成し、2回目の検討会議でもんでいただく形になると思います。

■河上委員

説明ではわかるが、この図ではわからないです一番怖いのは、誰がまとめるのかがこの図に出していないことです。「定性的な評価」ワークショップではまとめられないので、それをまとめるのは誰なのかがなければ、このモデル（案）は誰が責任をもって提案できるのか、この資料7からはわかりません。

■米倉委員

資料7は体制図と進行図が一緒になっているということなのかなと話を聞いて思いました。そうすると、やはり誰が評価をしていくのでしょうか。また、行政側から基軸となる方向性を示していただかないと、評価検討会議で出てくる情報は多く、どう処理するのかが基軸にかかってきますし、正解は一つではないので、その部分をしっかり、評価検討会議の前までにお伝えいただかないと、切り口が多いですね。それをどういう議論を重ねていくかということで、区内の方を交えて行うことはすごくいいことだと思います。それらをどのようにまとめて、さらに最終的に会議で承認していくのか、誰が主軸となっていくのかというのが整理されると、役目を与えられた者としては、しっかりと担わなければならないという気持ちで取り組めるのでありがたいです。

□秋田委員長

河上委員、米倉委員、ご意見ありがとうございます。まず、事務局案としてご提示をいただいて、たたき台としてご意見をいただいたことを踏まえて、さらにこの図のブラッシュアップをしながら実際に検討会議を開催し「定性的な評価」ワークショップを実施して、しっかりと基軸を持ちながらどうまとめていくかということをお示しし、この会議でご検討いただくという形で進めていきたいと思

います。貴重なご意見をありがとうございます。

米倉委員からありました通り、軸が両方入ってしまっているのですが、どのように解釈するかというところでのご意見をいただきましたが、進めていく体制の表し方については、事務局でご検討いただくということによろしいでしょうか。

■須藤委員

わかりにくかったので、改めて整理してお示しするようにいたします。体制と進行スケジュールがわからなくなっているのですが、整理させていただきます。

□秋田委員長

ありがとうございました。こちらの検討体制と評価検討会議の設置について、これから「定性的な評価」ワークショップについてさらにご説明をさせていただきますが、この検討会議の設置についてご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

ありがとうございました。設置をするということについては、資料 7 の検討体制の図を、さらに整理するという事で全員挙手にてご承認をいただきました。そして、さらに検討会議の委員につきましては、事務局案としては、副委員長の原委員、米倉委員、本多委員にご参加をいただき、令和 5 年度の評価検討会議の委員である、大久保勝仁氏にもご参加いただくということで、このメンバーについてもご承認いただきたいと思っておりますので、ご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

ありがとうございました。全員挙手ということでご承認をいただきました。

それでは、評価検討会議の委員になられた方々につきましては、もう一度事務局で整理をさせていただいたものを会議前にお伝えしながら、会議を進めていくということでご了承いただければと思います。

◇事務局

資料 7 に不備がありましたので修正いたします。左側の墨田区庁内食育推進会議部分で、保健計画課長となっておりますが、健康推進課長となります。この場で修正させていただきます。

□秋田委員長

委員の皆様、資料 7、墨田区庁内食育推進会議に保健計画課長と記載されている部分がありますが、健康推進課長となりますのでご修正をお願いいたします。

それでは、次に（仮称）「定性的な評価」ワークショップについて事務局より説明をお願いします。

◇事務局

資料 6 の 4、（仮称）「定性的な評価」ワークショップについてご説明させていただきます。お手元の資料 6 の 4 をご覧ください。令和 5 年度に開催された墨田区食育推進計画定性評価検討会議及び、「定性的な評価」ワークショップにおいて、定性的な評価は、計画の策定趣旨である「持続可能な協創」の食育を実現していくため、「すみだらしい食育」について明確化し、「すみだの食育」独自の評価モデルを作成していくこととなりました。

そこで、今年度は「すみだの食育」における「定性的な評価」の独自モデルを検討し、作成に向けたワークショップを開催したいと考えております。参加者（案）については約 30 名程度を予定しております。「定性的な評価」ワークショップの参加者は、区民等と区の関係者により構

成する予定です。参加者につきましては、すみだ食育推進会議委員、（仮称）墨田区食育推進計画評価検討会議委員、すみだの食育における特徴的な活動事例の関係者、墨田区職員として、行政栄養士、栄養教諭、庁内食育関連事業担当者会議委員等を考えております。この中から合計30名程度お願いできればと考えております。（2）開催時期（予定）につきましては、第1回を8月から9月、第2回を9月から10月、第3回を10月から11月に予定しております。なお、3回の「定性的な評価」ワークショップの内容につきましては、先ほどご承認いただきました、（仮称）墨田区食育推進計画評価検討会議の検討結果を受けて、内容を決定したいと考えております。事務局からは以上です。

□秋田委員長

ありがとうございました。

この定性的な評価を検討するにあたって、「定性的な評価」ワークショップを開催するということでご説明いただきました。「定性的な評価」ワークショップの趣旨、30名程度の参加者を募って、主な構成は記載の通り、実施時期については3回、全体を通すと8月から11月の間に3回を開催する予定で進めていくということでございます。この「定性的な評価」ワークショップにつきましては先ほどご質問がありましたけれども、「定性的な評価」ワークショップで実際に得られるものというのはご参照いただいた、様々な方々の活動を通してのご意見、そして、お知恵をいただきながら、それを最終的にまとめ上げていく。「定性的な評価」ワークショップの中で素材をいただいていくということになるかと思っておりますけれども、こちらについて、ご意見・ご質問のある方は挙手をお願いいたします。

それでは原委員、いかがでしょうか

■原委員

すみだらしい食育というところが大事なキーワードになっていて、これまでは先ほど委員長の話にもありましたがパンドラの箱で、なかなか明確に示されていなかったことによって、ここから先どのように広げていくということが見えてこなかったところがあったのかと思っておりますが、それを実質的に広げていくための一つの基軸となっていくのではないかと思います。とても大変な取り組みだと予感しておりますが、昨年度の様子を見ていると、非常に活発な意見がありましたので、その勢いを広げていく道筋ができれば、広がっていくのではないかと予感しております。微力ではありますがやらせていただければと思います、よろしく願いいたします。

■米倉委員

行政側の方針がわかっていたらと思いますが、参加者（案）のところ、約30名程度というところに引っ掛かりを感じています。これまでの話でいうと、すみだの食育の良さはグループの強さなのかなと思っており、例えば行政側の職員が30名程度集まるのでは意味がなく、きちんと協創をしている方を選定して、そのグループの方や取り組みをされている方が、結果30名程度集まることは非常に良いことだと思います。きちんと活動されてきていて、今回の定性的な評価の指標に当たる部分を感じている、あるいは言語化をしていなくても取り組みを進めている方を参加者としてお招きすることが大切だと思います。評価検討会議で決めていくということですので、そこでしっかりと話し合う必要があると思いますが、そのためには、墨田で頑張ってもらっている、私たちが本当に意見を聞いたほうがいいと思うグループ、活動されている方をお呼びするのが大事だと思います。検討の内容は見えていませんが、1回から3回まで同じ人・グループを呼ぶのか、1

回目のグループ、2 回目のグループというように墨田区で活動されている方を幅広くお招きして、結果 90 名となるのか、そのあたりの方法論も見えていせんので、そこも含めて、何を導き出したいのかしっかりと計画してから、この「定性的な評価」ワークショップを開催するのが大切なのかなと思いました。技術的な話になってしまいましたが、これだけの取組みをしている自治体はありませんので、ある意味、墨田区の方が、先頭を切って先進事例的にこの取組みを進めることはとても良いことです。ぜひ手法はきちんと考えたほうが良いと思います。

□秋田委員

ありがとうございます。参加者 30 名、実際にどういう方たちを内容につまましては、事務局でしっかり検討いただきたいということと、事務局で粗々なところで、こういう方を、という考えがあれば教えていただければと思います。

◇事務局

墨田区の職員側としては庁内食育関連事業担当者会議の委員ということでざっくりと記載させていただいておりますが、その中でも食育とかがわりが深い、（環境政策課の食品ロス等）活動をされている課もあれば、かかわりの薄い課もあるので、深く食育と関連する担当課を抽出したいと考えております。

また、特徴的な活動事例は基本的に計画書の特徴的な活動事例に掲載されている団体を中心に、すみだ食育 good ネットの方だけでなく、昨年育成した食育推進リーダー等、地域で活動されている方を広く入れたいと考えております。事務局からは以上です。

□秋田委員長

ありがとうございました。それともう一つ米倉委員からお話がありましたが、どういったことをこの 3 回の中で構成していくのか、ということについては、先ほどご承認いただいた検討会議の設置の中でご相談しながら、ということもあると思います。それについては、事務局のほうでもしっかり案を作って進めていただきたいと思います。

米倉委員、それでよろしいでしょうか。

■米倉委員

はい。

□秋田委員長

田口委員より、令和 5 年度第 2 回すみだ食育推進会議にて評価をするという考え方の中に、「モノサシ」という表現がありましたが、「モノサシ」という言葉を使うことに対するご意見を受けて、今回、「独自モデル」という表現に変更したと事務局より伺っていますが、田口委員、いかがでしょうか。

■田口委員

このような会議やいろいろなものを策定する際に、だんだん難しくなっているような気がしています。食育は食べるもの、誰でも取り組める、わかるようなものだと思いますが、定性的なものを考えると、専門知識がある人ではないと、場合によってはできたものが理解できなくなる、ということが気になりますので、そのような意味で「モノサシ」という表現がどうなのかなと思いました。モデル（案）を区として出すものには難しくてもかまわないですが、一般の区民に知らせるにはもう少しやわらかい、概要的なものを作成して知らせないと一般の方はわからないのではないかと思います。

□秋田委員長

ありがとうございました。田口委員からいただいたご意見は、定性的な評価モデルができた後、どのように区民の方たちにお伝えしていく、お伝えの仕方についても視野に入れて取り組んでいただきたいということでご意見をいただいておりますので、それも踏まえて進めていただきたいと思います。

それでは（仮称）「定性的な評価」ワークショップについてご承認をいただきたいと思います。ご意見をいただいた部分も踏まえて事務局で検討いたしますが、まずご承認をいただける委員の方は挙手をお願いいたします。

全員挙手により承認となりました。それでは定性的な評価につきましては終了いたします。

続いて、本多委員は、本日ご欠席ですが昨年度の墨田区食育推進計画定性評価検討会議の委員であり、「定性的な評価」ワークショップのファシリテーターをされたことから事前にご意見をいただいているとのこと。事務局より代読をお願いいたします。

◇事務局

今回参加を想定されている「特徴的な活動事例の関係者」の方々の中には「食育で」「育もうとしたこと」といったワードはスムーズに理解できない、あまり意識してきていない方もいるのではないかと感じています。だからこそワークショップを通して共通認識のようなものを引き出し、モノサシをつくるものと考えています。例えば「大切にしてきたこと」を聞いたのちに、「予想していた成果と予想していなかったよい成果」などを話題提供していただき、議論を進めるなどはいかがでしょうか。すみだの食育独自の評価モデルを検討していくために、食育推進会議の委員のみならず、テーマ設定や進行について意見をいただけるとありがたいです。とのこと。

□秋田委員長

ありがとうございます。だいが会議終了のお時間が迫ってまいりました。引き続き、事務局より議事の(3)芽室町との食を通じた交流事業（特別区全国連携プロジェクト）の今後の進め方について説明をお願いします。

◇事務局

資料 8 をご覧ください。芽室町との食を通じた交流事業（特別区全国連携プロジェクト）の今後の進め方についてご説明いたします。特別区全国連携プロジェクトは平成 26 年 9 月に特別区長会が立ち上げたプロジェクトになります。墨田区では、令和元年度のプレ事業を経て、令和 2 から 4 年度に北海道十勝 18 町村と連携し、関係人口創出プロジェクトを実施してまいりました。令和 5 年度以降は、その実績をもとに関係人口の創出・拡大を図るため、北海道十勝西部 4 町（芽室町、清水町、鹿追町、新得町）と引き続き、交流を行っています。この間、墨田区と芽室町（北海道十勝地域）は、「食」を通じた独自の取組を継続し、自治体間での連携を図りながら、両地域の資源を活かした様々なプログラムを実施しております。2 の今までの経過についてはこの表をご覧ください。3 の今後について、令和 5 年度の墨田区長の芽室町表敬訪問を機会に、令和元年度から墨田区独自で取り組んできた芽室町との交流をさらに進めることを目的に、令和 6 年 3 月に墨田区（文化芸術振興課、保健計画課）、すみだ食育 good ネット、北海道芽室町（魅力創造課）、なまら十勝野の 4 者会議にて、官民協働による自治体間のしくみづくりを構築することとなりました。今年度は、そのしくみづくりに向けて検討、調整を行い、「食」を通じた推進体制の実現を図っていく予定となっております。

なお、今年度も芽室町に訪問する予算を確保しておりますので、訪問した際には、自治体間のしくみづくりのを中心に、両自治体で具体的な取り組みも含めて検討していければと考えております。事務局からは以上です。

□秋田委員長

「芽室町との食を通じた交流事業（特別区全国連携プロジェクト）の今後の進め方について」ご意見ある方は挙手をお願いいたします。

大久保委員は芽室町との取り組みに関わっていると伺っておりますがご意見がございましたらお願いいたします。

■大久保委員

令和元年のプレ事業から参加させていただいて、昨年の区長の芽室町訪問の時も同行させていただきました。やはり今までのお話と同じように区のしっかりとした指針、方針、考えとそれに伴って周りが賛同して進めることが必要であると思います。食を通じた自治体間同士の交流はとても大切なことで、特に芽室町の非常に広い広大な土地を墨田区の児童に見せたいと強く思っております。実際にキャベツがどのようにできて店頭に並んでいるのか等、それを知ることでまた一つ違う食事を、児童が感じるができると思います。オンラインも一般的になってしまいましたが、直接会って顔を見ながら話すということがとても大事なことはないかと思っております。芽室町の方々は土地と同じく広大な心をお持ちの方が多く、非常に親しみやすい方々なので、直接会って理解を深めていければと思います。

□秋田委員長

この取組みも官民協働で進めてこられたと伺っておりますが、須藤委員から補足はありますでしょうか。

□須藤委員

初めは全国連携プロジェクトということですみだ食育 good ネットのみなさんとコラボして食の部分がかなり進んでいるということで非常にありがたいと思っております。区としては食だけでなく、色々な分野の交流も念頭に置いて、文化芸術振興課が窓口で都市間交流、食については引き続き保健部門で取り組んでいきます。大久保委員がおっしゃられた通り、食を切り口に交流をしていければと思っておりますので、お力添えをよろしくお願いいたします。

□秋田委員長

ありがとうございました。それでは事務局からご説明がありました、芽室町との食を通じた交流事業（特別区全国連携プロジェクト）の今後の進め方について」にご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

ありがとうございました。「出席委員の過半数」の賛成をもって承認となりました。

これにて議事をすべて終了することができました。こちらのご承認につきましては、「出席委員の過半数」の賛成をもってすべての議事についてご承認をいただいたということになります。事務局は、委員の皆様からいただいた意見を踏まえて、事業等進めていこうと思います。委員の皆様には、今後の事業等の準備についてご協力いただきますようお願いいたします。

議事については以上になります。

◇事務局

秋田委員長、原副委員長、委員のみなさまありがとうございました。

次回の推進会議は、来年の2月上旬を予定しております。日程を調整の上、担当よりご連絡をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

また、本日お伺いしきれなかったご意見につきましては、冒頭でもお伝えしましたとおり、資料9の「ご意見・ご質問シート」にご記入いただき、6月17日（月）までに事務局へご返送いただきますようお願い致します。それでは、これで令和6年度第1回すみだ食育推進会議を閉会させていただきます。皆さん、本日は長時間にわたり誠にありがとうございました。